

## (1) 高校、大学の市場分析

中岡英二議員

資料1

### アンケート調査結果に基づく通学市場の傾向分析 山口東京理科大

- ・ 下関市、美祢市、宇部市、山口市、防府市、山陽小野田市の厚狭方面からJR通学がある（図7）。JR利用は遠方からの通学が利用している傾向がある。
- ・ 山陽小野田市内に居住の学生は、JR以外の利用が多い（図8）。

※高校アンケート調査よりも居住地の情報の粒度が粗いため結果の解釈は注意が必要

図7 山口東京理科大のJR通学分布

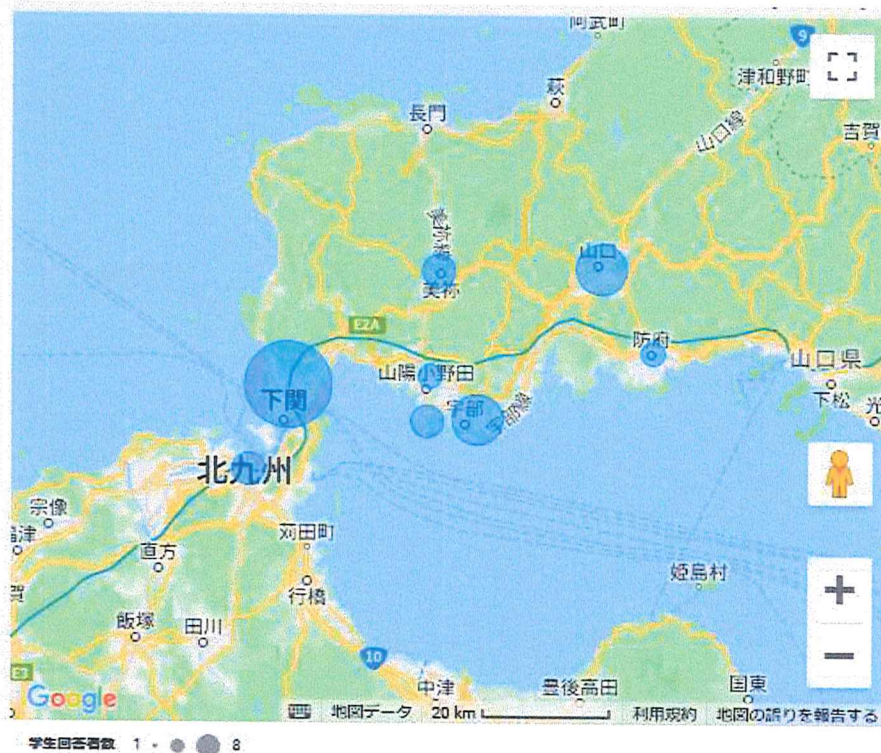


図8 山口東京理科大の学生回答者分布



資料：大学生アンケート調査（山口県2022年）（回答数221）

## (5) 効果計測方法について

中岡英二議員

資料2

### 評価の視点

#### ▼小野田線利用促進の視点から評価

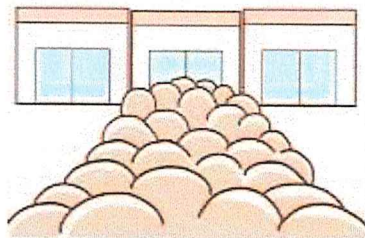
|               | 理科大   | 小野田工業 | 小野田高 | サビエル | 香川高校 |
|---------------|-------|-------|------|------|------|
| 学生数（2024年1月）  | 1,686 | 277   | 455  | 193  | 455  |
| ①通学利用者数（定期利用） | 86    | 45    | 33   | 5    | 25   |
| 小野田線利用可能者数    | 330   | 142   | 74   | 9    | 60   |
| ②潜在需要         | 244※  | 97    | 41   | 4    | 35   |

※現在の船鉄バス利用者を含む

※小野田線利用可能者数は、高校アンケート調査の郵便番号別学生数から推定。郵便番号無の回答をあわせて処理しているため数値の解釈は注意が必要。

#### ▼サービス提供の視点から評価

#### ▼連携の視点から評価



| 共通乗車制度導入後<br>(小野田線+船鉄バス) |       |   |
|--------------------------|-------|---|
| 通常                       | 登校    | ○ |
|                          | 下校    | △ |
|                          | 部活下校  | △ |
| テスト                      | 下校    | ○ |
| 土日祝部活動                   | 午前部登校 | ○ |
|                          | 午前部下校 | ○ |
|                          | 午後部登校 | ○ |
|                          | 午後部下校 | ○ |

## (2) 高校生、大学生の移動ニーズと運行サービスのギャップ分析

中岡英二議員

資料3

### 移動ニーズと運行サービスのギャップ 山口東京理科大

- 朝の通学時間帯(ピーク)では船鉄バスの乗車人数が多い。理科大生の乗車人数が多い車両への乗車を見送り、自主的に次便を利用する高齢者もいるという報告がある。
- 山口東京理科大(雀田キャンパス)の学生数増が予定されており、朝の通学時間帯の移動サービスの供給力アップが期待される。

#### ◎理科大学学生数の今後の推移

令和5年度 1,687人 (+188人)

令和6年度 1,807人 (+120人)

令和7年度 1,927人 (+120人)

令和8年度 2,052人 (+125人)

令和9年度 2,117人 (+65人)

数理情報科学科完成年度

医薬工学科完成年度